

景 気 動 向 調 査

(第 161 回)

2011 年 4 月 ~ 6 月 期 実 績

2011 年 7 月 ~ 9 月 期 予 測

株 式 会 社 北 日 本 銀 行

経 営 企 画 部

目 次

| | | |
|----------------|-------|----|
| 調査要領 | | 1 |
| 概 況 | | 2 |
| 1. 県内景況感について | | 4 |
| 2. 業況について | | |
| (1) 売上高または出荷高 | | 5 |
| (2) 生産高または仕入高 | | 6 |
| (3) 在 庫 | | 7 |
| (4) 収 益 | | 8 |
| (5) 販売価格・仕入価格 | | 9 |
| 3. 設備投資の動向について | | |
| (1) 設備投資の実施状況 | | 10 |
| (2) 設備投資の目的 | | 11 |
| 4. 資金繰り状況について | | |
| (1) 資金繰り状況 | | 12 |
| (2) 現金・預金 | | 13 |
| (3) 金融機関借入 | | 13 |
| (4) 販売代金回収期間 | | 14 |
| (5) 仕入代金決済期間 | | 14 |
| 5. 経営上の問題点について | | 15 |

調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力のもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。なお、2011年1月～3月期実績および4月～6月期予測の調査については、東日本大震災の発生により実施しておりません。

記

1. 実施時期 2011年6月下旬～2011年7月上旬
2. 調査対象期間 2011年4月～6月期実績
 2011年7月～9月期予測
3. 調査の方法 郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
4. 対象先 岩手県内企業 400社
5. 回答数 183通（回答率 45.75 %）
 <内訳> 製造業 57社 建設業 39社 卸・小売業 87社
6. 調査の主要項目 (1) 業況について
 (2) 設備投資の動向について
 (3) 資金繰りの状況について
 (4) 当面する経営上の問題点について

以 上

【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

(注) 「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

概 況

2011年4～6月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で73.2であった。7～9月期見通しについては、景況感は上向きとなり、売上高・出荷高、収益は下向きとなっている。景況感は震災前（10～12月期実績59.5）の水準に回復する見通しが示されている。

D I（景気動向指数）推移

| 全業種ベース | 4～6月期実績 | 7～9月期見通し |
|---------|---------|----------|
| 景況感 | 73.2 | 57.2 |
| 売上高・出荷高 | 4.9 | 15.4 |
| 収益 | 12.2 | 27.0 |
| 販売価格 | 0.6 | 0.0 |
| 仕入価格 | 36.9 | 30.9 |
| 資金繰り | 1.6 | 13.9 |

国内経済をみると、公共投資は総じて低調に推移しており、住宅投資も東日本大震災の影響により動きが弱いものの、設備投資は持ち直しつつある。また、個人消費は一部に弱い動きが続いているものの、下げ止まっている。輸出や生産は供給面の制約が緩和されるなど、持ち直しの動きが明確になっている。総体としての景気動向は東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなか、上向きの動きがみられる。

一方、岩手県内経済をみると、鉱工業生産は生産設備の復旧や原材料・部品調達難の緩和により着実に持ち直しの動きがみられるものの、住宅投資は前年を下回っている。個人消費は持ち直しの動きがみられ、公共投資は復旧工事を中心に前年を上回っている。総体としての岩手県内景気動向は一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きが広がりつつある。

< 参考 >

岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

| | 調査回次 | 対象期間 | 景況感D I |
|---|-------|-----------|--------|
| 1 | 第153回 | 09年1～3月 | 92.7 |
| 2 | 第152回 | 08年10～12月 | 91.3 |
| 3 | 第124回 | 01年10～12月 | 91.2 |
| 4 | 第109回 | 98年1～3月 | 90.6 |
| 5 | 第111回 | 98年7～9月 | 90.0 |

(1971(昭和46)年以降)

1. 県内景況感について

全体のD Iは、73.2となっている。

各業種別のD Iをみると、製造業が77.1、建設業が64.1、卸・小売業が74.4である。7~9月期見通しでは、製造業が1.8ポイント低下しているが、建設業が23.1ポイント、卸・小売業が24.5ポイントそれぞれ上昇し、建設業と卸・小売業は上向き見通しとなっている。

2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では4.9となっている。業種別では、建設業が2.6、卸・小売業が4.6、製造業が10.5である。

(2) 生産高または仕入高

製造業の生産高は15.8、卸・小売業の仕入高は9.5となっている。

(3) 在庫

製造業の製品在庫は25.0、卸・小売業の商品在庫は23.4となっている。

(4) 収益

D Iは、全体では12.2となっている。業種別では、製造業が17.9、建設業が10.2、卸・小売業が9.3である。

(5) 販売価格・仕入価格

販売価格は0.6、仕入価格は36.9となっている。

3. 設備投資の動向について

全体で見ると、設備投資を「実施した」企業は19.6となっている。

業種別では、製造業が21.5、卸・小売業が21.4、建設業が13.1である。

また、設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり、「生産・販売能力の増加」が2位、「省力化・合理化」が3位となっている。

4. 資金繰り状況について

D Iは、全体では1.6となっている。業種別では、建設業が15.4、卸・小売業が3.5、製造業が10.5である。

5. 経営上の問題点について

各業種とも「売上・受注不振」、「収益不振」、「過当競争」が上位を占めている。

1. 県内景況感について

～ 建設業、卸・小売業の見通し上向く ～

【4～6月期の実績】 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が5.4%（前期 %）、「悪い」が78.6%（同 %）で、DIは 73.2（同 %）となっている。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が 77.1（同 %）、建設業が 64.1（同 %）、卸・小売業が 74.4（同 %）となっている。

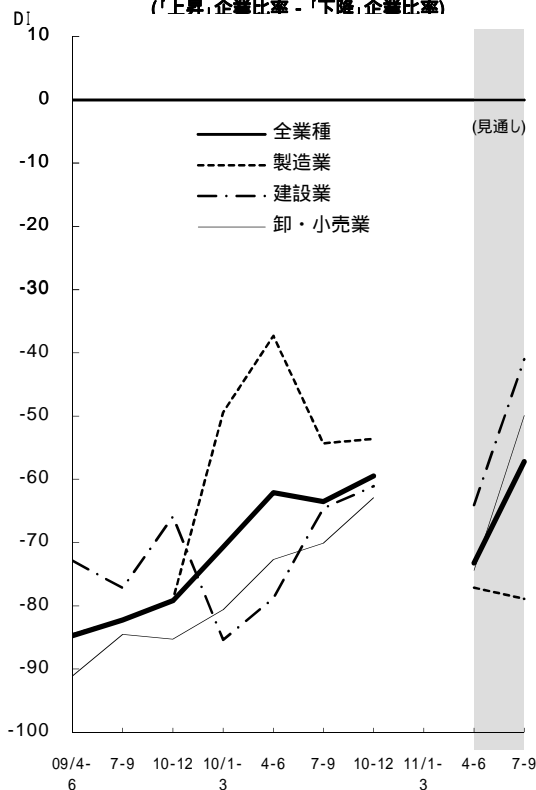
【7～9月期の見通し】 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が11.1%、「悪くなる」が68.3%であることから、DIは 57.2となり、4～6月期実績と比較すると上向く見通しとなっている。

業種別にみると、製造業が 78.9、建設業が 41.0、卸・小売業が 49.9となっており、建設業、卸・小売業は上向く見通しとなっている。

県内景況感(前年同期比)

| | | （%） | | | | | DI |
|---------|---------------|-----|------|------|------|------|-------|
| | 期 | 良い | やや良 | 不変 | やや悪 | 悪い | |
| 全業種 | 4～6月 (実績) | 0.5 | 4.9 | 16.0 | 41.2 | 37.4 | -73.2 |
| | 7～9月 (見通し) | 1.1 | 10.0 | 20.6 | 43.3 | 25.0 | -57.2 |
| （製造業） | 4～6月 (実績) | 1.8 | 1.8 | 15.7 | 38.6 | 42.1 | -77.1 |
| | 7～9月 (見通し) | 0.0 | 1.8 | 17.5 | 49.1 | 31.6 | -78.9 |
| （建設業） | 4～6月 (実績) | 0.0 | 7.7 | 20.5 | 46.2 | 25.6 | -64.1 |
| | 7～9月 (見通し) | 0.0 | 15.4 | 28.2 | 33.3 | 23.1 | -41.0 |
| （卸・小売業） | 4～6月 (実績) | 0.0 | 5.8 | 14.0 | 40.7 | 39.5 | -74.4 |
| | 7～9月 (見通し) | 2.4 | 13.1 | 19.1 | 44.0 | 21.4 | -49.9 |

県内景況感(前年同期比)
（「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率）



2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

～ 建設業は上向く見通し ～

[4～6月期の実績] 売上・出荷実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が37.7%(前期%)、「減少」が42.6%(同%)となり、DIは4.9(同%)となっている。

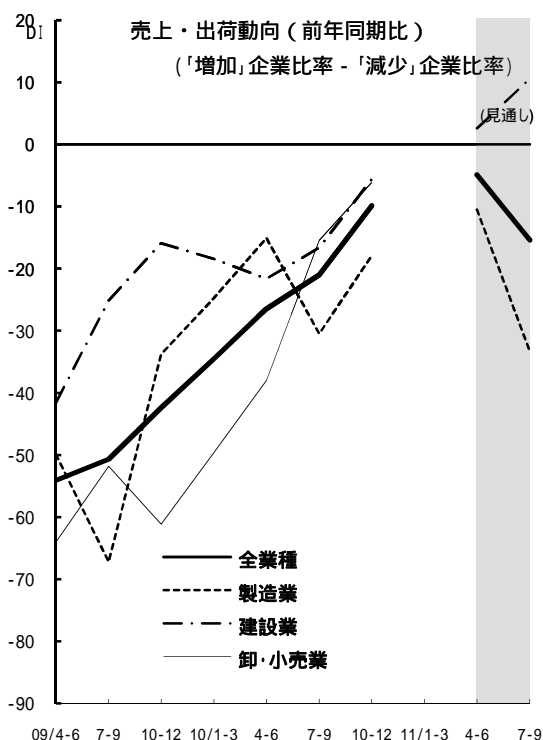
業種別にDIをみると、製造業10.5(前期%)、建設業2.6(同%)、卸・小売業4.6(同%)となっている。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が28%、「減少」が43.4%であることから、DIは15.4で、4～6月期実績と比較して10.5ポイント下向く見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業で33.3、建設業で10.6、卸・小売業で15.0となっており、4～6月期実績と比較して建設業は上向く見通しとなっている。

売上高または出荷高(前年同期比)

| | | (%) | | | | | | |
|---------|-----------|------|------|------|------|------|-------|--|
| | | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | DI | |
| 全業種 | 4～6月(実績) | 12.6 | 25.1 | 19.7 | 19.1 | 23.5 | -4.9 | |
| | 7～9月(見通し) | 4.4 | 23.6 | 28.6 | 28.6 | 14.8 | -15.4 | |
| (製造業) | 4～6月(実績) | 14.0 | 21.1 | 19.3 | 22.8 | 22.8 | -10.5 | |
| | 7～9月(見通し) | 7.0 | 12.3 | 28.1 | 33.3 | 19.3 | -33.3 | |
| (建設業) | 4～6月(実績) | 10.3 | 20.5 | 41.0 | 17.9 | 10.3 | 2.6 | |
| | 7～9月(見通し) | 5.3 | 34.2 | 31.6 | 18.4 | 10.5 | 10.6 | |
| (卸・小売業) | 4～6月(実績) | 12.6 | 29.9 | 10.4 | 17.2 | 29.9 | -4.6 | |
| | 7～9月(見通し) | 2.3 | 26.4 | 27.6 | 29.9 | 13.8 | -15.0 | |



(2) 生産高または仕入高

～ 大きく下向く見通しの製造業 ～

[4～6月期の実績] 生産高・仕入高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が33.3%（前期 %）、「減少」が49.1%（同 %）で、DIは 15.8（前期 %）となっている。

卸・小売業（仕入高）では、「増加」と答えた企業は36.9%（前期 %）、「減少」が46.4%（同 %）で、DIは 9.5（同 %）となっている。

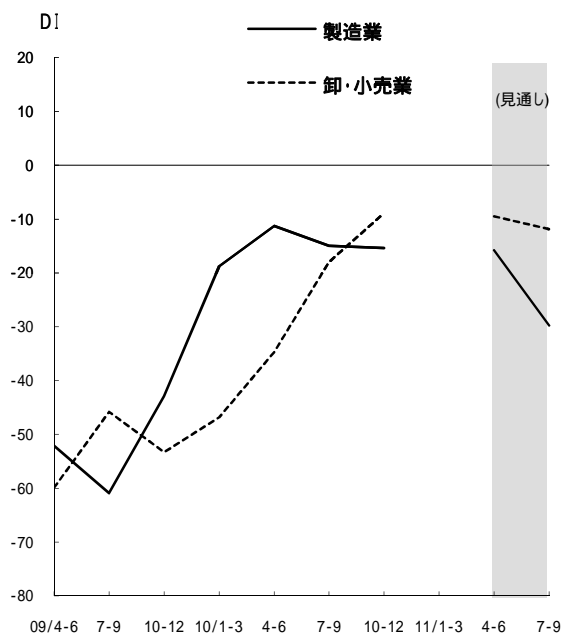
[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については、「増加」と答えた企業が17.6%、「減少」が47.4%であることから、DIは 29.8で、4～6月期実績と比較して14.0ポイント下向く見通しとなっている。

卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が27.4%、「減少」が39.3%であることから、DIは 11.9となり、4～6月期実績と比較して2.4ポイント下向く見通しとなっている。

生産・仕入動向(前年同期比)
(「増加」企業比率 - 「減少」企業比率)

生産高または仕入高(前年同期比)

| | | (%) | | | | | |
|---------|---------------|------|------|------|------|------|-------|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | DI |
| (製造業) | 4～6月 (実績) | 14.0 | 19.3 | 17.6 | 29.8 | 19.3 | -15.8 |
| | 7～9月 (見通し) | 8.8 | 8.8 | 35.0 | 31.6 | 15.8 | -29.8 |
| (卸・小売業) | 4～6月 (実績) | 13.1 | 23.8 | 16.7 | 20.2 | 26.2 | -9.5 |
| | 7～9月 (見通し) | 2.4 | 25.0 | 33.3 | 26.2 | 13.1 | -11.9 |



(3) 在庫

～ 卸・小売業の見通し上向く ～

[4～6月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は14.3%（前期 %）、「減少」が39.3%（同 %）であることから、DIは 25.0（同 %）となった。また、原材料在庫水準については、「過大」が13.5%（同 %）、「適正」が69.2%（同 %）、「不足」が17.3%（同 %）である。

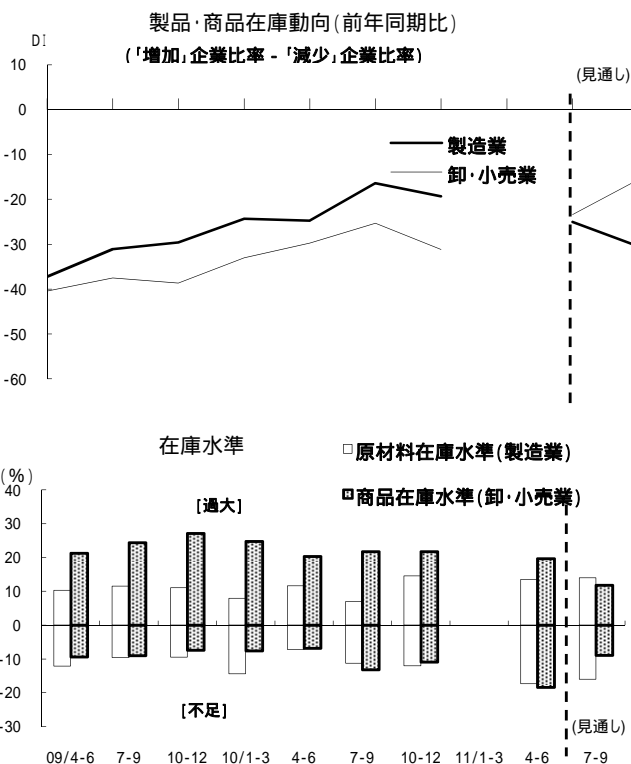
卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が14.3%（前期 %）、「減少」37.7%（同 %）であることから、DIは 23.4（同 %）となった。また、商品の在庫水準については、「過大」が19.7%（同 %）、「適正」が62.0%（同 %）、「不足」が18.3%（同 %）である。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が8.9%、「減少」が39.3%で、DIは 30.4となっている。また、同じく原材料在庫水準については「過大」とみる企業が14.0%、「適正」が70.0%、「不足」が16.0%である。

卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が11.7%、「減少」が27.3%であることから、DIは 15.6となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が11.8%、「適正」が79.3%、「不足」が8.9%である。

製品・商品在庫（前年同期比）

| | | （%） | | | | | |
|---------|-----------|-----|------|------|------|------|-------|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | DI |
| （製造業） | 4～6月（実績） | 1.8 | 12.5 | 46.4 | 23.2 | 16.1 | -25.0 |
| | 7～9月（見通し） | 0.0 | 8.9 | 51.8 | 28.6 | 10.7 | -30.4 |
| （卸・小売業） | 4～6月（実績） | 2.6 | 11.7 | 48.0 | 22.1 | 15.6 | -23.4 |
| | 7～9月（見通し） | 0.0 | 11.7 | 61.0 | 20.8 | 6.5 | -15.6 |



(4) 収 益

～ 各業種とも下向く見通し ～

[4～6月期の実績] 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が30.9%（前期 %）、「減少」が43.1%（同 %）であり、D Iは 12.2（同 %）となっている。

業種別にD Iをみると、製造業 17.9（前期 %）、建設業 10.2（同 %）、卸・小売業 9.3（同 %）となっている。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が17.0%、「減少」とみる企業が44.0%であることから、D Iは 27.0で、4～6月期実績と比較して14.8ポイント下向く見通しとなっている。

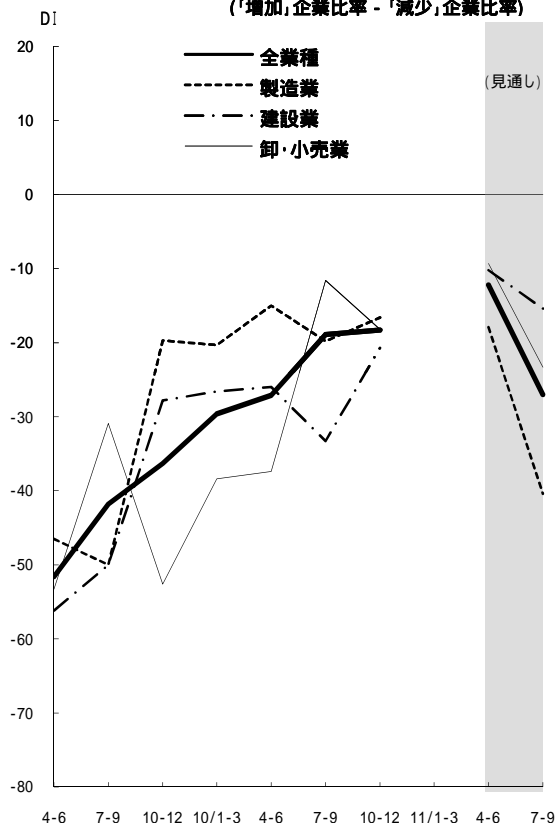
業種別にD Iをみると、製造業 40.4、建設業 15.4、卸・小売業 23.3で、4～6月期実績と比較して、各業種とも下向く見通しとなっている。

収 益(前年同期比)

| | | D I (%) | | | | | D I |
|---------|---------------|---------|------|------|------|------|-------|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | |
| 全業種 | 4～6月 (実績) | 9.4 | 21.5 | 26.0 | 22.1 | 21.0 | -12.2 |
| | 7～9月 (見通し) | 3.8 | 13.2 | 39.0 | 28.6 | 15.4 | -27.0 |
| (製造業) | 4～6月 (実績) | 8.9 | 17.9 | 28.5 | 16.1 | 28.6 | -17.9 |
| | 7～9月 (見通し) | 7.0 | 5.3 | 35.0 | 31.6 | 21.1 | -40.4 |
| (建設業) | 4～6月 (実績) | 10.3 | 15.4 | 38.4 | 25.6 | 10.3 | -10.2 |
| | 7～9月 (見通し) | 2.6 | 17.9 | 43.6 | 23.1 | 12.8 | -15.4 |
| (卸・小売業) | 4～6月 (実績) | 9.3 | 26.7 | 18.7 | 24.4 | 20.9 | -9.3 |
| | 7～9月 (見通し) | 2.3 | 16.3 | 39.5 | 29.1 | 12.8 | -23.3 |

収益動向(前年同期比)

(「増加」企業比率 - 「減少」企業比率)



(5) 販売価格・仕入価格

～ 大きく上向いた仕入価格 ～

[4～6月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が17.9%（前期 %）、「低下」が18.5%（同 %）であることから、DIは0.6（同 %）となっている。

仕入価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が43.6%（前期 %）、「低下」が6.7%（同 %）であることから、DIは36.9（同 %）となっている。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が15.6%、「低下」とみる企業が15.6%であることから、DIは0.0で、4～6月期実績と比較してやや上向き見通しとなっている。

仕入価格については、「上昇」とみる企業が39.8%、「低下」とみる企業が8.9%であることからDIは30.9となり、4～6月期実績と比較して下向き見通しとなっている。

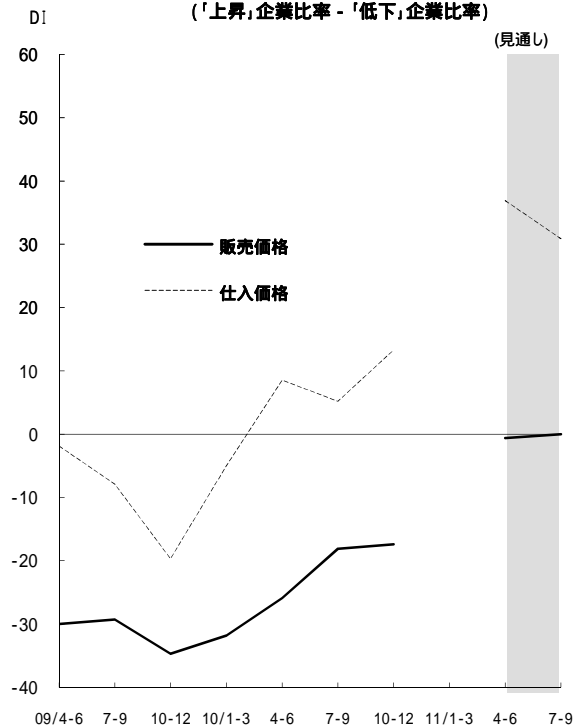
販売価格(前年同期比)

| | | （%） | | | | | DI |
|-----|---------------|-----|------|------|------|-----|------|
| | 期 | 上昇 | やや上 | 不変 | やや低 | 低下 | |
| 全業種 | 4～6月 (実績) | 1.1 | 16.8 | 63.6 | 14.0 | 4.5 | -0.6 |
| | 7～9月 (見通し) | 1.1 | 14.5 | 68.8 | 10.6 | 5.0 | 0.0 |

仕入価格(前年同期比)

| | | （%） | | | | | DI |
|-----|---------------|-----|------|------|-----|-----|------|
| | 期 | 上昇 | やや上 | 不変 | やや低 | 低下 | |
| 全業種 | 4～6月 (実績) | 3.9 | 39.7 | 49.7 | 3.9 | 2.8 | 36.9 |
| | 7～9月 (見通し) | 2.2 | 37.6 | 51.3 | 6.7 | 2.2 | 30.9 |

価格動向(前年同期比)
('上昇',企業比率 - '低下',企業比率)



3.設備投資の動向について

(1) 設備投資の実施状況

～ 全体に見通し上向く ～

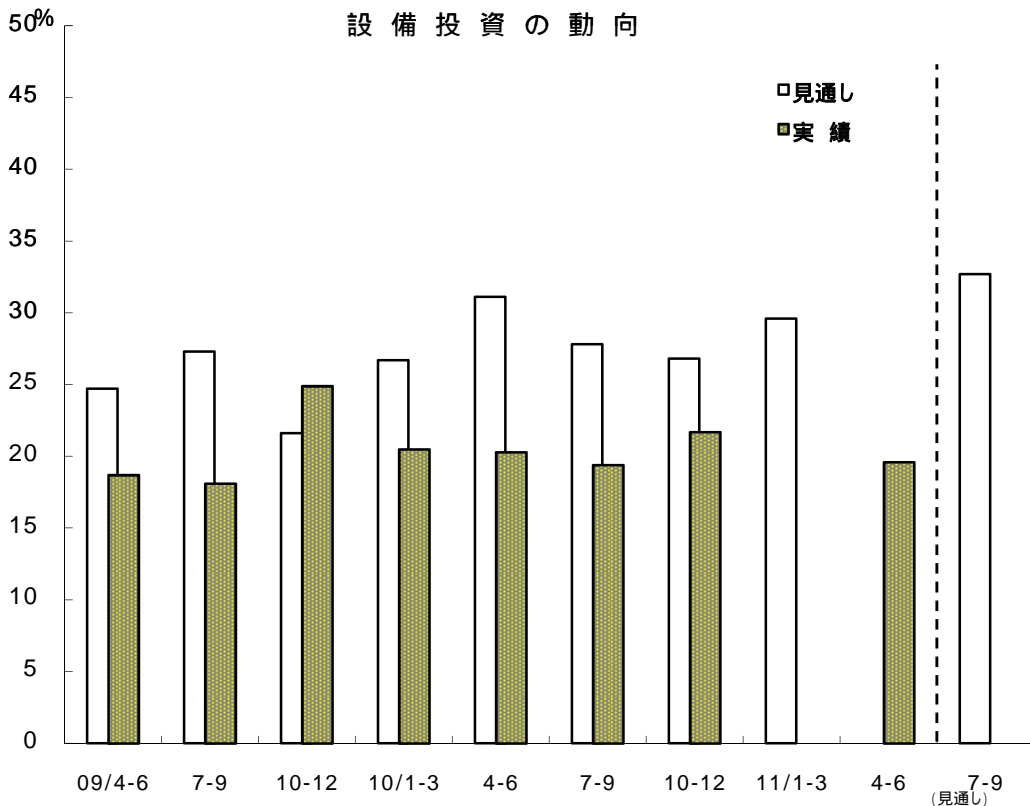
[4～6月期の実績] 設備投資の実施状況をみると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は19.6%（前期 %）となっている。

これを業種別にみると、建設業13.1%（前期 %）、卸・小売業21.4%（同 %）、製造業21.5%（同 %）となっている。

[7～9月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で15.8%（前期 %）、「計画はあるが具体化していない」は16.9%（同 %）、「計画はない」は67.3%（同 %）であった。

「計画あり」は合計32.7%（前期 %）となっている。

業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、製造業で33.9%（前期 %）、建設業で15.8%（同 %）、卸・小売業で39.8%（同 %）の見通しとなっている。



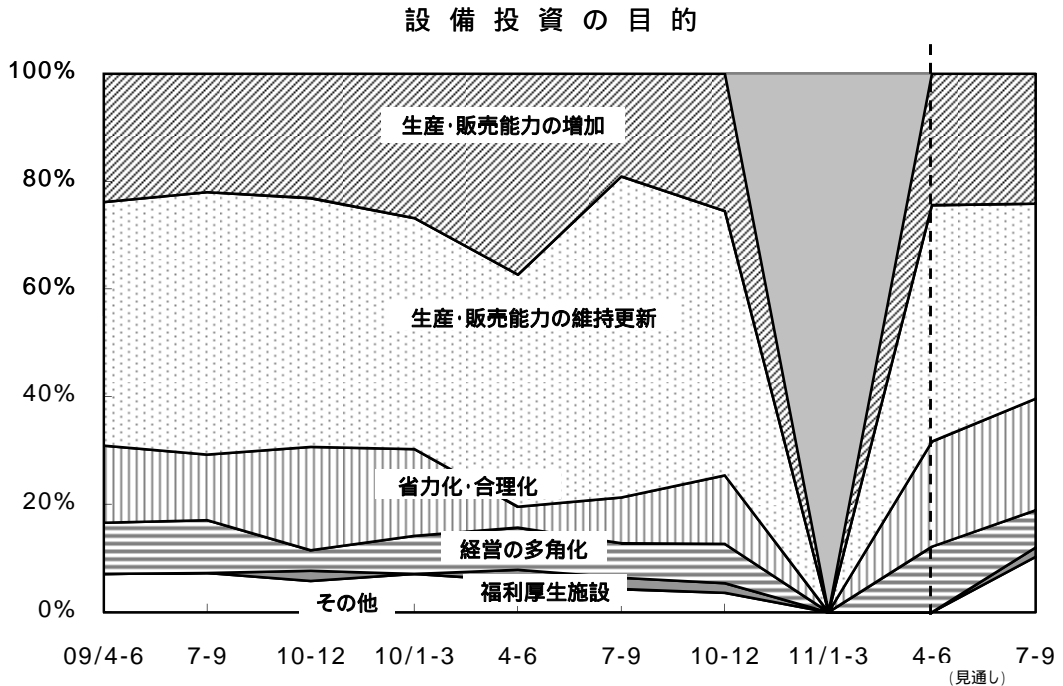
(2) 設備投資の目的

[4～6月期の実績] 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(19.6%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が43.9%(前期%)でトップとなり、「生産・販売能力の増加」が24.4%(同%)で2位、「省力化・合理化」が19.5%(同%)で3位となっている。

業種別にみると、全業種で「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり、製造業では「省力化・合理化」、卸・小売業では「生産・販売能力の増加」、建設業では「経営の多角化」が2位となっている。

[7～9月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(32.7%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が36.2%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」24.1%、「省力化・合理化」20.7%、「その他」10.3%の順となっている。

業種別では、製造業、卸・小売業で「生産・販売能力の維持更新」がトップなり、建設業で「生産・販売能力の維持更新」と「生産・販売能力の増加」が同率2位となっている。



4. 資金繰り状況について

(1) 資金繰り状況

～ 各業種の見通し下向く ～

[4～6月期の実績] 資金繰り状況(前期比)は、全業種では、「楽になった」とする企業が24.1%(前期%)、「苦しくなった」が25.7%(同%)であることから、DIは1.6(同%)となっている。

業種別にDIをみると、製造業が10.5(前期%)、建設業が15.4(同%)、卸・小売業が3.5となっている。

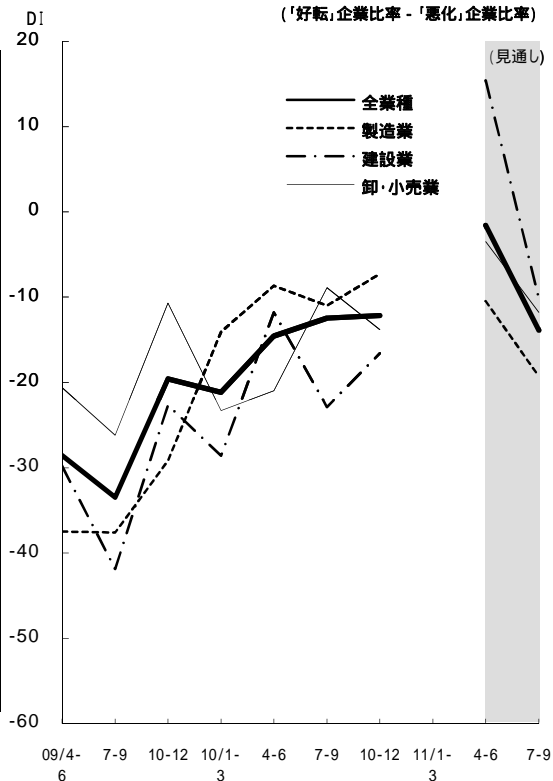
[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し(当期比)をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が14.5%、「苦しくなる」が28.4%で、DIは13.9となり、4～6月期実績と比較して、下向く見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業19.3、建設業10.2、卸・小売業11.8となっており、4～6月期実績と比較して、いずれも下向く見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

| | 期 | (%) | | | | | DI |
|---------|-----------|------|------|------|------|------|-------|
| | | 楽 | やや楽 | 不変 | やや苦 | 苦 | |
| 全業種 | 4～6月(実績) | 4.4 | 19.7 | 50.2 | 17.5 | 8.2 | -1.6 |
| | 7～9月(見通し) | 2.8 | 11.7 | 57.1 | 20.6 | 7.8 | -13.9 |
| (製造業) | 4～6月(実績) | 3.5 | 14.0 | 54.5 | 17.5 | 10.5 | -10.5 |
| | 7～9月(見通し) | 5.3 | 10.5 | 49.1 | 24.6 | 10.5 | -19.3 |
| (建設業) | 4～6月(実績) | 2.6 | 28.2 | 53.8 | 12.8 | 2.6 | 15.4 |
| | 7～9月(見通し) | 0.0 | 10.3 | 69.2 | 17.9 | 2.6 | -10.2 |
| (卸・小売業) | 4～6月(実績) | 5.7 | 19.5 | 46.1 | 19.5 | 9.2 | -3.5 |
| | 7～9月(見通し) | 2.4 | 13.1 | 57.2 | 19.0 | 8.3 | -11.8 |

資金繰り動向(前期比)
(「好転」企業比率 - 「悪化」企業比率)



(2) 現金・預金

〔4～6月期の実績〕 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が24.6%（前期 %）、「減少した」が31.1%（同 %）であることから、DIは 6.5（同 %）となっている。

〔7～9月期の見通し〕 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が12.6%、「減少する」が35.7%であることから、DIは 23.1（当期 6.5）と下向く見通しとなっている。

(3) 金融機関借入

〔4～6月期の実績〕 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が24.5%（前期 %）、「減少した」が33.4%（同 %）であることから、DIは 8.9（同 %）となっている。

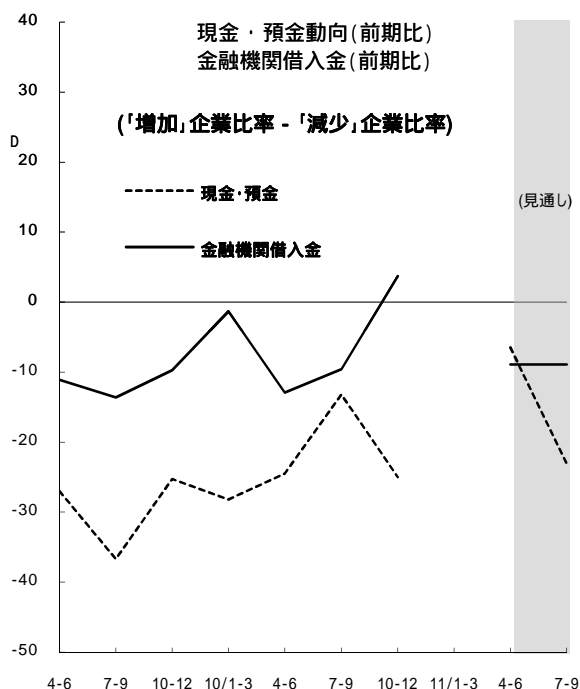
〔7～9月期の見通し〕 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が18.0%、「減少する」が26.9%であることから、DIは 8.9（当期 8.9）と横ばいの見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

| | | （%） | | | | | | |
|-----|---------------|-----|------|------|------|-----|-------|--|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | DI | |
| 全業種 | 4～6月 （実績） | 4.9 | 19.7 | 44.3 | 21.3 | 9.8 | -6.5 | |
| | 7～9月 （見通し） | 1.6 | 11.0 | 51.7 | 27.5 | 8.2 | -23.1 | |

金融機関借入金(前期比)

| | | （%） | | | | | | |
|-----|---------------|-----|------|------|------|-----|------|--|
| | 期 | 増加 | やや増 | 不変 | やや減 | 減少 | DI | |
| 全業種 | 4～6月 （実績） | 5.6 | 18.9 | 42.1 | 30.6 | 2.8 | -8.9 | |
| | 7～9月 （見通し） | 4.5 | 13.5 | 55.1 | 24.7 | 2.2 | -8.9 | |



(4) 販売代金回収期間

[4~6月期の実績] 販売代金回収期間(前期比)については、「短くなった」とする企業が5.5%(前期%)、「長くなった」が15.9%(同%)であることから、DIは10.4(同%)となった。また、78.6%(同%)の企業は「変わらない」としている。

[7~9月期の見通し] 7~9月期の見通し(当期比)をみると、「短くなる」とみる企業が3.4%、「長くなる」が15.5%であることから、DIは12.1(当期10.4)となる。また、81.1%の企業は「変わらない」とみている。

(5) 仕入代金決済期間

[4~6月期の実績] 仕入代金決済期間(前期比)については、「長くなった」とする企業が5.5%(前期%)、「短くなった」が2.2%(同%)であることから、DIは3.3(同%)となった。また、92.3%(同%)の企業は「変わらない」としている。

[7~9月期の見通し] 7~9月期の見通し(当期比)をみると、「長くなる」とみる企業が0.6%、「短くなる」が2.2%であることから、DIは1.6(当期3.3)となる。また、97.2%の企業は「変わらない」とみている。

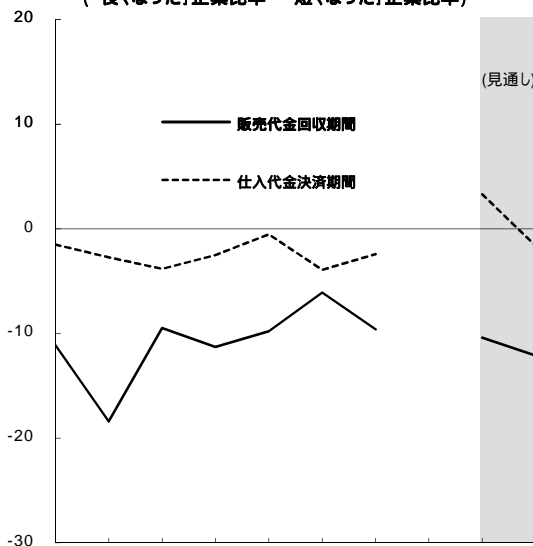
販売代金回収期間(前期比)

| | | (%) | | | | | DI |
|-----|---------------|-----|-----|------|------|-----|-------|
| | 期 | 短く | やや短 | 不変 | やや長 | 長く | |
| 全業種 | 4~6月 (実績) | 1.1 | 4.4 | 78.6 | 13.7 | 2.2 | -10.4 |
| | 7~9月 (見通し) | 0.6 | 2.8 | 81.1 | 12.7 | 2.8 | -12.1 |

仕入代金決済期間(前期比)

| | | (%) | | | | | DI |
|-----|---------------|-----|-----|------|-----|-----|------|
| | 期 | 長く | やや長 | 不変 | やや短 | 短く | |
| 全業種 | 4~6月 (実績) | 1.1 | 4.4 | 92.3 | 2.2 | 0.0 | 3.3 |
| | 7~9月 (見通し) | 0.0 | 0.6 | 97.2 | 2.2 | 0.0 | -1.6 |

販売代金回収期間動向(前期比)
('短くなった'企業比率 - '長くなった'企業比率)
仕入代金決済期間動向(前期比)
('長くなった'企業比率 - '短くなった'企業比率)



5. 経営上の問題点について

～ 全体として、原材料・仕入価格高が強まる ～

4～6月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」28.4%（前期 %）、「過当競争」14.9%（同 %）、「収益不振」14.6%（同 %）、「原材料・仕入価格高」12.6%（同 %）、「販売価格安」12.0%（同 %）の順となっている。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「売上・受注不振」32.1%（同 %）がトップとなり、「収益不振」17.0%、「原材料・仕入価格高」17.0%が同率順位となっている。建設業では「過当競争」23.9%（同 %）がトップとなり、「売上・受注不振」21.1%、「収益不振」19.7%の順となっている。卸・小売業では「売上・受注不振」28.9%（同 %）、「過当競争」17.6%、「販売価格安」12.6%の順となっている。

いずれの業種も「売上・受注不振」、「収益不振」、「過当競争」が上位を占めている。

経営上の問題点

